

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

山口福祉文化大学 実施報告書



実施主体 ライフデザイン学部ライフデザイン学科子ども生活学専攻2年生有志
実施内容 平成25年11月3日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

基礎ゼミⅣの授業の中で、(1)子ども虐待の実態、(2)子ども虐待防止に向けての取組、(3)オレンジリボンについて、の3点を調べた。また、調べた内容を班ごとに模造紙にまとめ、学園祭で見えていただくための掲示物を準備した(写真①)。さらに、子ども虐待防止に向けてのメッセージを記入してもらうためのボードを用意した(写真②)。

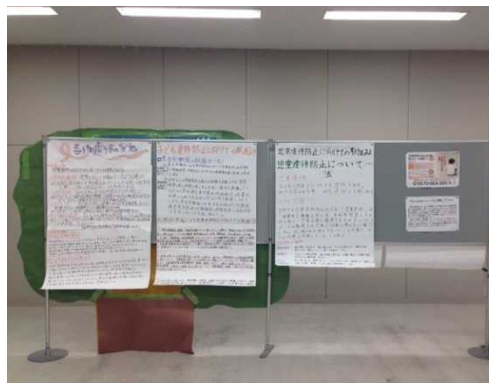
②実施期間に取り組んだ具体的内容

(1)子ども虐待の実態、(2)子ども虐待防止に向けての取組、(3)オレンジリボンについて、の3点をまとめた模造紙を、学園祭の展示会場に掲示した。また、展示会場でオレンジリボンを配布すると共に、来場者に子ども虐待に対するメッセージを専用の用紙に記入していただきボードに掲示した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・虐待の対策はさまざまな機関で行われているということがわかりました。
- ・もっと沢山の人がオレンジリボンの意味を知ってもらって一緒に活動できたらいいと思う。やっぱり大人が子どもを守り、助けてあげなければいけない。
- ・児童虐待の数が年々減少していくように虐待防止についてももう少し考えていけたらいいと思う。
- ・子ども虐待のニュースをきくと、私はいつも心が痛くなります。また、小さいのちが奪われることは、少しずつでも減ってほしいと思います。この活動を広げていき、少しでも子ども虐待がなくなればいいなと思います。
- ・様々な活動がされていて驚きました。虐待のない世の中になるといいなと思います。
- ・虐待防止の対策をもっとたくさん考えるべきだと思います。
- ・子ども虐待のない社会それが理想で目標とすべきところであるけれど、人の意識を変えることの大変さを改めて感じました。

写真①(学園祭での掲示)



写真②(子ども虐待防止に向けてのメッセージを記入してもらうためのボード)

